株式会社島津製作所(東証プライム市場：証券コード7701)

2025年3月期　中間期決算説明会

代表取締役社長 CEO 山本靖則　|　2024年11月8日

中期経営計画：当社の目指す姿

- 新型コロナウイルスとの闘いを通して、「人の命と健康」への意識が高まる
- サステナビリティへの関心が高まり、「地球の健康」が重要な社会課題に

ヘルスケア領域

人の命と健康への貢献

マテリアル領域

グリーン領域

地球の健康への貢献

インダストリー領域

産業の発展、安心・安全な社会の実現への貢献

社　　是　：科学技術で社会に貢献する
経営理念：「人と地球の健康」への願いを実現する
島津グループサステナビリティ憲章

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

中期経営計画　基本方針

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

コンセプト：　世界のパートナーと共に社会課題を解決するイノベーティブカンパニーへ
～技術開発力と社会実装力の両輪強化により持続的成長を果たす～

2025年度 業績目標

売上高 5,500億円　営業利益 800億円　営業利益率 14.5%
ROIC 11.0%以上　　ROE 12.5%以上

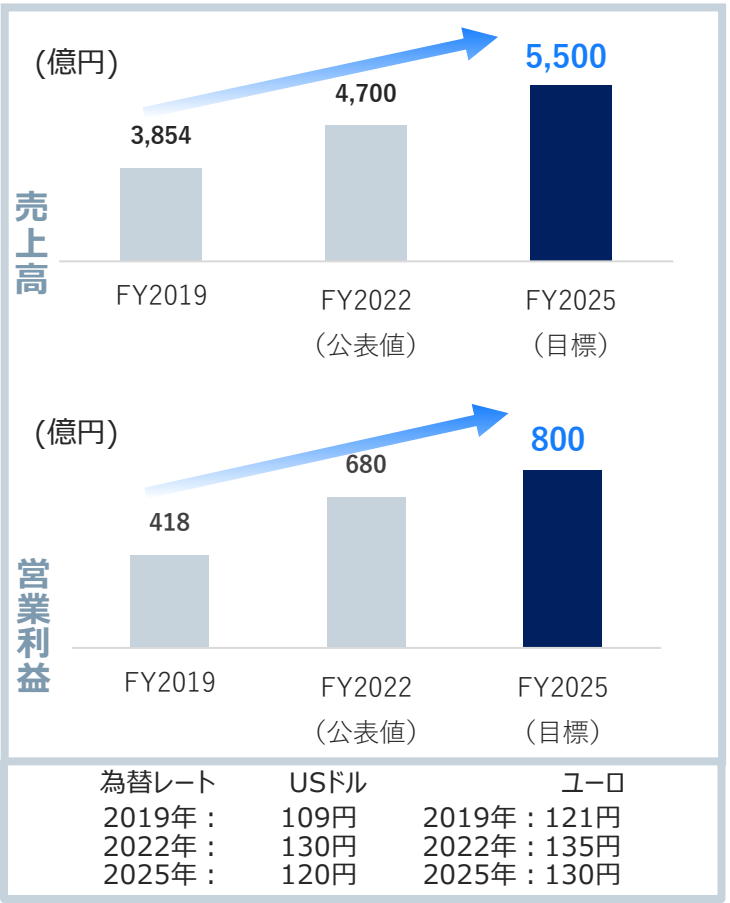
5つの 事業戦略

重点事業強化 - LC、MS、GC、試験機、TMP -	メドテック事業の強化	海外事業の拡大 - 北米強化 -	リカーリングビジネスの強化、拡大
新事業・将来事業の創出			

7つの 経営基盤 強化

ガバナンスの強化

開発スピード強化	国際標準化・規制対応力の強化	グローバル製造の拡大	DX推進
人財戦略：島津人の育成		財務戦略：攻めの財務へ	



為替レート	USドル	ユーロ
2019年：	109円	2019年：121円
2022年：	130円	2022年：135円
2025年：	120円	2025年：130円

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

ハイライト

上期業績 増収減益

- **トップライン(受注･売上)は順調に増加　･成長投資を継続**
- 【売上高】　**2,512億円(前期比+5%)**：**４期連続で過去最高**
- 【受注高】　**2,680億円(前期比＋8%)**：**過去最高を2期ぶりに更新**
- 【営業利益】　**302億円(前期比▲7%)**：成長投資などにより減益

２Q(7-9月) 増収増益

- **成長投資に付加価値訴求がキャッチアップ**
- 【売上高】　**1,343億円(前期比+3%)**：**4期連続で過去最高**
- 【受注高】　**1,300億円(前期比+4%)**：**過去最高を2期ぶりに更新**
- 【営業利益】　**193億円(前期比+0%)**：成長投資を付加価値訴求で補う

通期目標 増収増益

- **受注の早期売上を実現し営業利益も過去最高をめざす**
- 【下期期頭受注残高】2,460億円　：2024年3月末から250億円増加
- 【売上高】　**5,400億円(前期比　+5%)**：受注残の早期売上と生産増で増収
- 【営業利益】　**760億円(前期比　+4%)**：増収と製造収支改善で増益に

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

01 決算概要

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

業績サマリー

	単位：億円	中間期(4月-9月)		前年同期比		
		FY2023	FY2024	増減額	増減率	
業績	売上高	2,395	2,512	+117	+4.9%	(除中国：+9.1%)
	営業利益	325	302	▲23	▲7.0%	
	営業利益率	13.6%	12.0%	▲1.5pt		
	経常利益	359	284	▲74	▲20.8%	
	親会社株主に帰属する当期純利益	266	213	▲52	▲19.7%	
為替	平均為替レート：米ドル（円）	141.03	152.68	+11.65	+8.3%	
	ユーロ（円）	153.43	165.98	+12.55	+8.2%	
	研究開発費	102	135	+32	+32%	
	設備投資額	121	111	▲10	▲8%	
	減価償却費	92	97	+5	+5%	

為替影響額　（売上高、営業利益は平均為替レートで、営業外損益は期末レートで計上）

売上高：＋109億円　　営業利益：　＋38億円

経常利益・純利益：

営業外損益　▲50億円

FY2023中間：為替差益＋26億円（期末レート：3月末・1ドル134円→9月末・150円）
FY2024中間：為替差損▲24億円（期末レート：3月末・1ドル151円→9月末・143円）

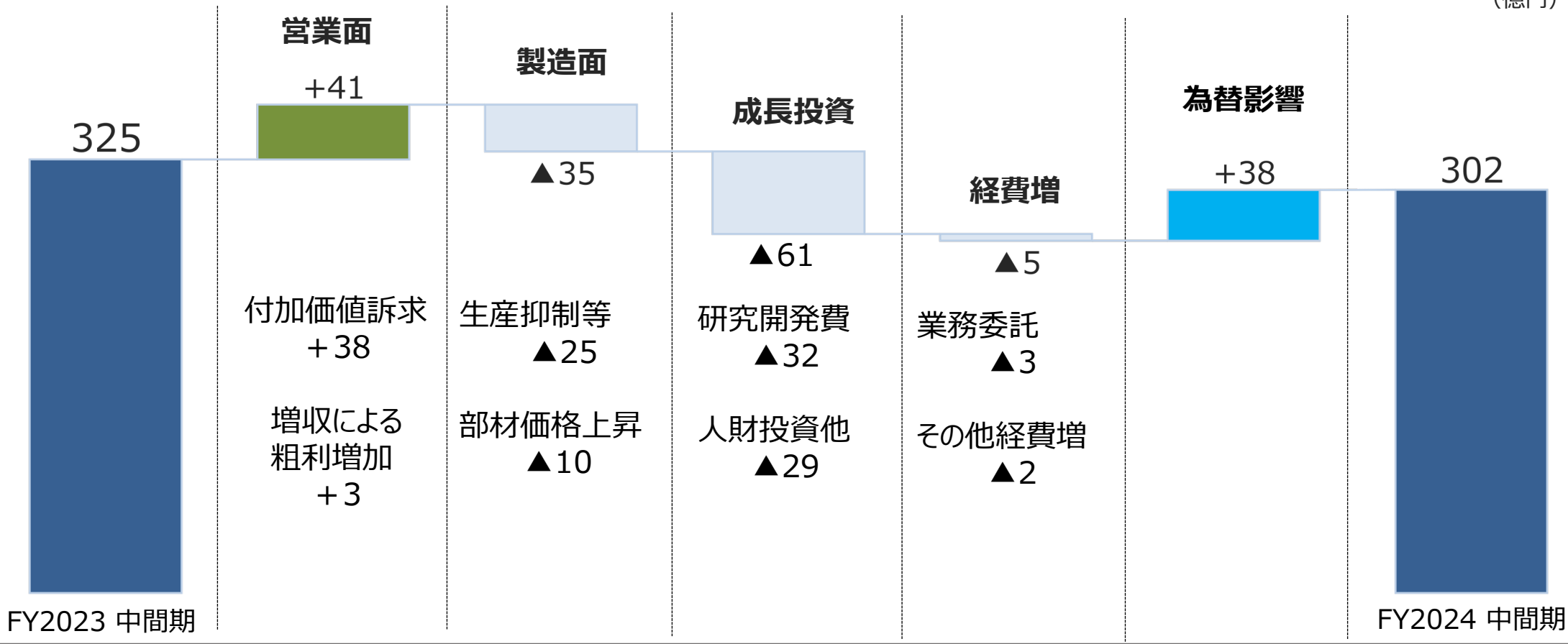
＊記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、
表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

連結／営業利益増減要因（4-9月）

■ 営業面　：付加価値訴求による粗利増　+41億円
■ 製造面　：部材価格上昇、工場収支影響など　▲35億円
■ 成長投資　：研究開発費、人的投資、M&A、DXなどの成長投資　▲61億円

（億円）

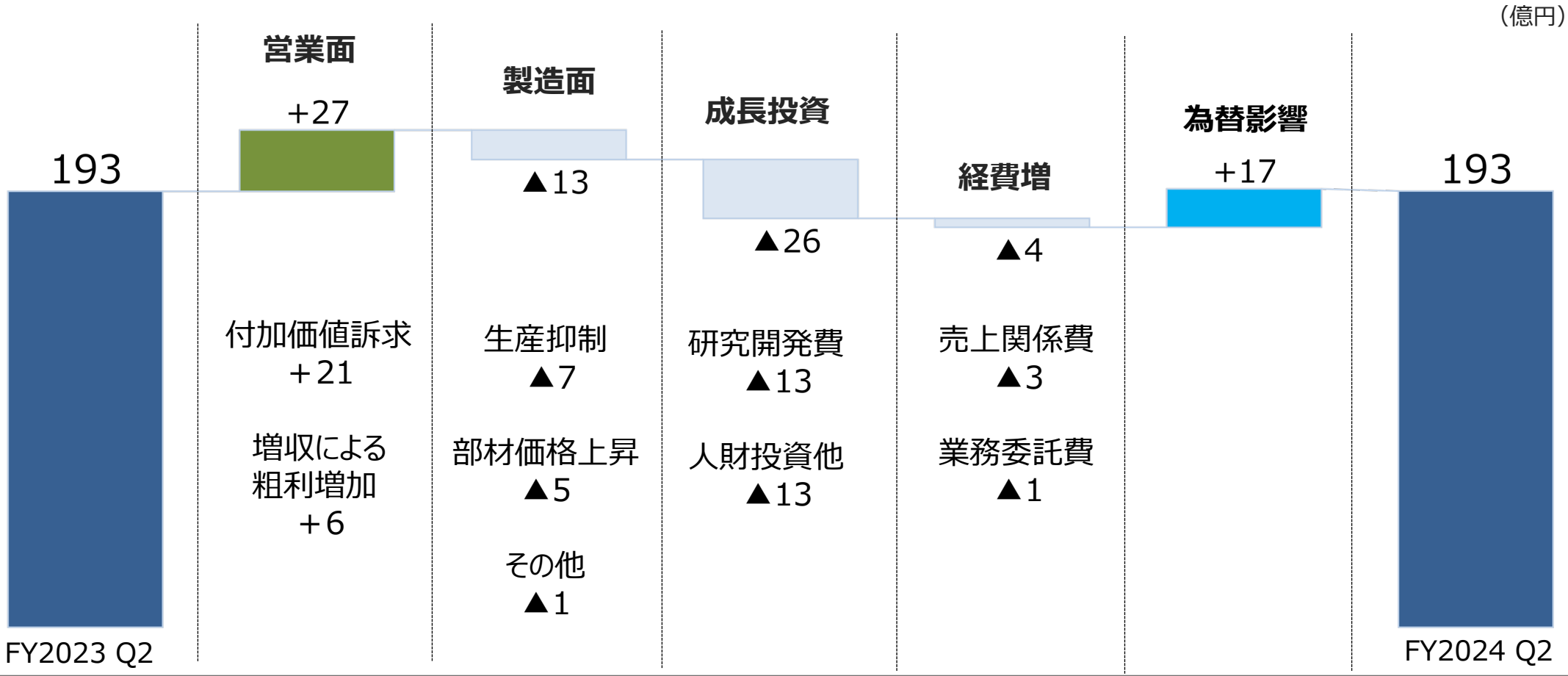


＊記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、
表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

連結／営業利益増減要因（7-9月）

■ 営業面　：増収及び付加価値訴求による粗利増　+27億円
■ 製造面　：部材価格上昇、工場収支影響など　▲13億円
■ 成長投資　：研究開発費、人的投資、M&A、DXなどの成長投資　▲26億円



＊記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、
表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

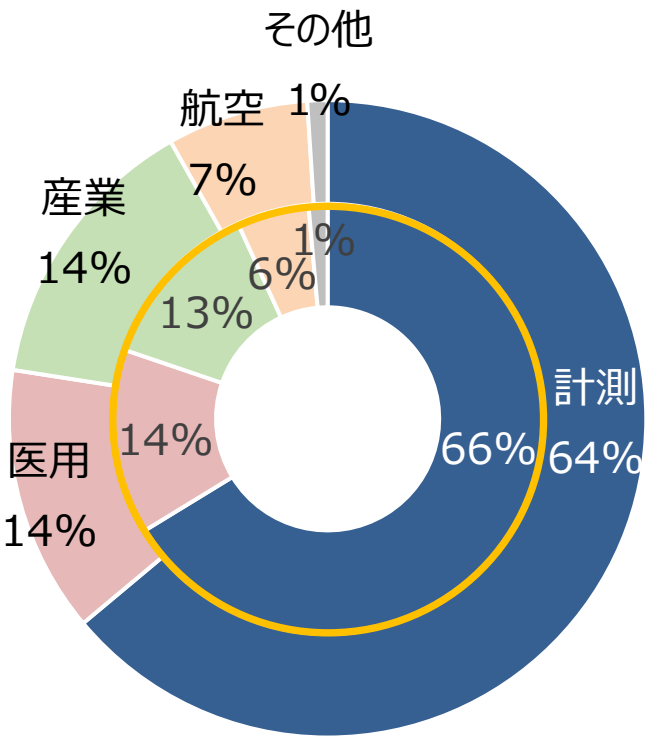
Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

セグメント別損益

- 売上高は、**計測、産業、航空機器事業が過去最高**。 医用も増加。
- 産業、航空機器事業の業績が全社を牽引
- 構成比は計測64%、医用14%、産業14%、航空7%。 計測が減少し、航空・産業が増加

単位 億円	売上高			営業利益				
	FY2024 中間期	前年同期比		FY2024 中間期	前年同期比		FY2024 中間期	前年同期比
		増減額	増減率		増減額	増減率		増減
計測機器	1,606	+19	+1%	213	▲53	▲20%	13.3%	▲3.5pt
医用機器	340	+6	+2%	16	▲0	▲2%	4.7%	▲0.2pt
産業機器	360	+51	+16%	53	+20	+60%	14.7%	+4.0pt
航空機器	180	+50	+39%	24	+11	+84%	13.3%	+3.3pt
その他	26	▲8	▲24%	2	▲3	▲62%	4.1%	▲4.6pt
調整額	-	-	-	▲5	+2	-	-	-
合計	2,512	+117	+5%	302	▲23	▲7%	12.0%	▲1.5pt

セグメント別売上高構成比



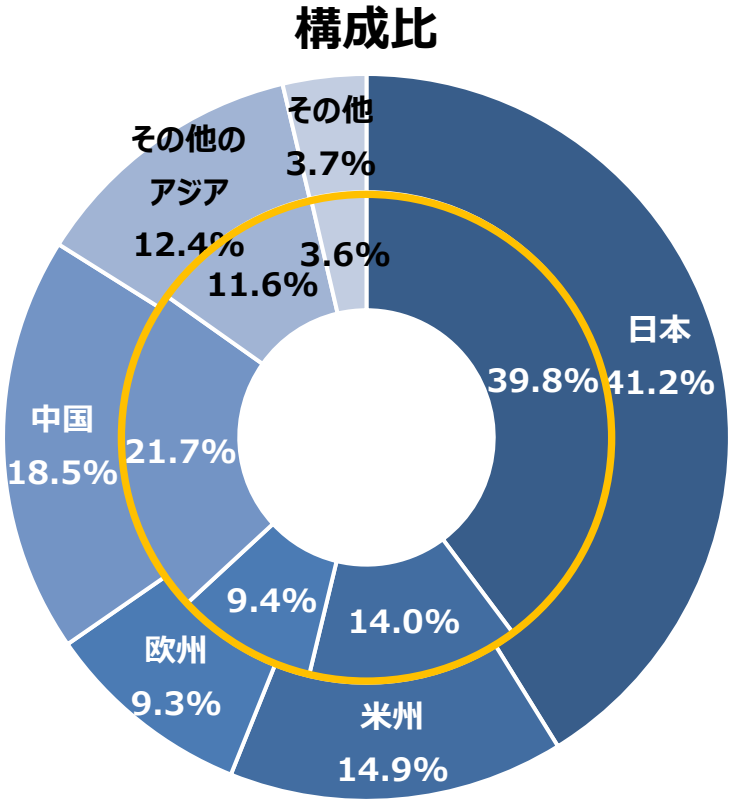
※円グラフ:外側 FY2024実績
内側 FY2023実績

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

連結／地域別売上高

■ 売上高 ：中国を除く地域で、増収。 特に、米州、インド、日本が牽引。 中国の構成比▲３.２pt減少
■ 米 州 ：液体クロマトグラフ、質量分析システム、ターボ分子ポンプ、医用X線装置が増加
■ 海外売上高比率：58.8%（前年同期比▲1.4pt）

単位 億円	売上高				構成比	
	FY2023 中間期	FY2024 中間期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	FY2023 中間期	FY2024 中間期
日本	952	1,034	+82	+8.6%	39.8%	41.2%
海外	1,443	1,478	+35	+2.5%	60.2%	58.8%
米州	335	375	+39	+11.7%	14.0%	14.9%
欧州	224	233	+9	+4.1%	9.4%	9.3%
中国	519	466	▲53	▲10.3%	21.7%	18.5%
その他のアジア	277	311	+34	+12.2%	11.6%	12.4%
その他	87	93	+6	+7.1%	3.6%	3.7%

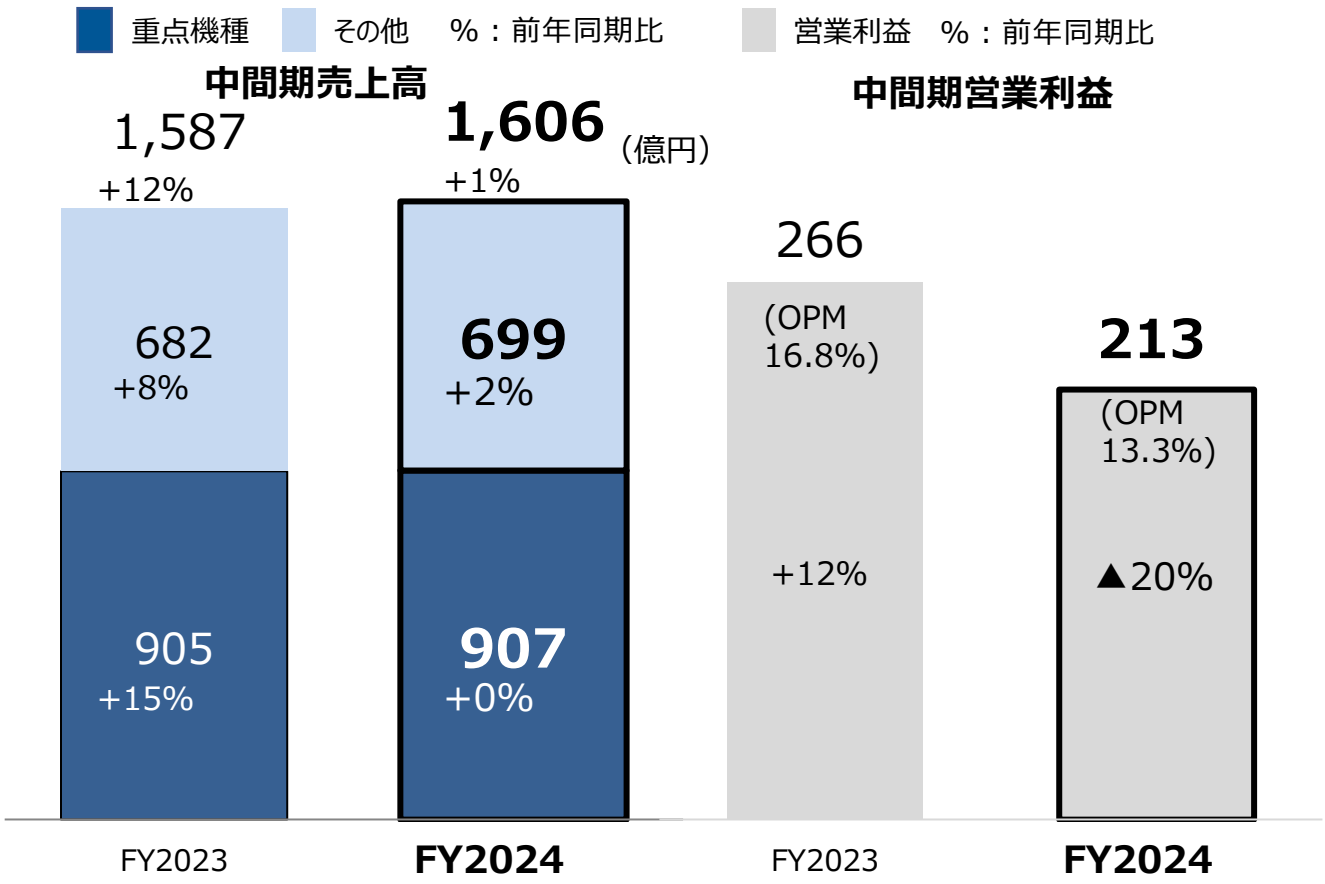


※円グラフ:外側 FY2024実績
内側 FY2023実績

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器／売上高・営業利益

- **増収減益：中国の売上減少を日本、インドを中心に他地域でカバーし増収に**
- **売上高　：売上高1,606億円（前年同期比+1%）、重点機種、その他機種ともに増収、過去最高を更新**
- **営業利益：営業利益213億円(▲53億円▲20% ）成長投資増、生産抑制により減益**



重点機種　売上高907億円

- 中国影響を受け伸び鈍化
  ※中国を除けば**+7%の伸び**
- 医薬市場で液体クロマトグラフを中心に増加
- グリーン領域でガスクロマトグラフが増加
- PFAS需要は各地域で増加

その他　売上高699億円

- 水素や電池材料開発に試験機が好調

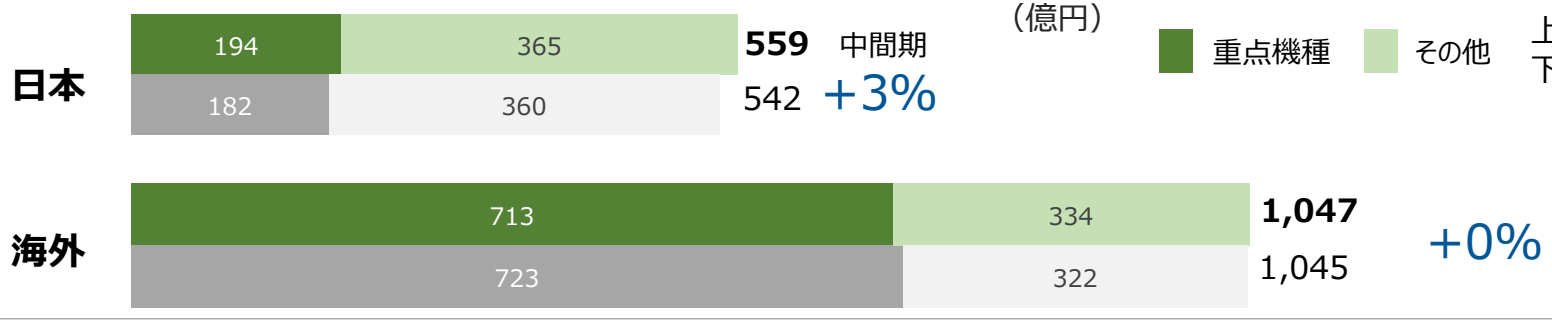
※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

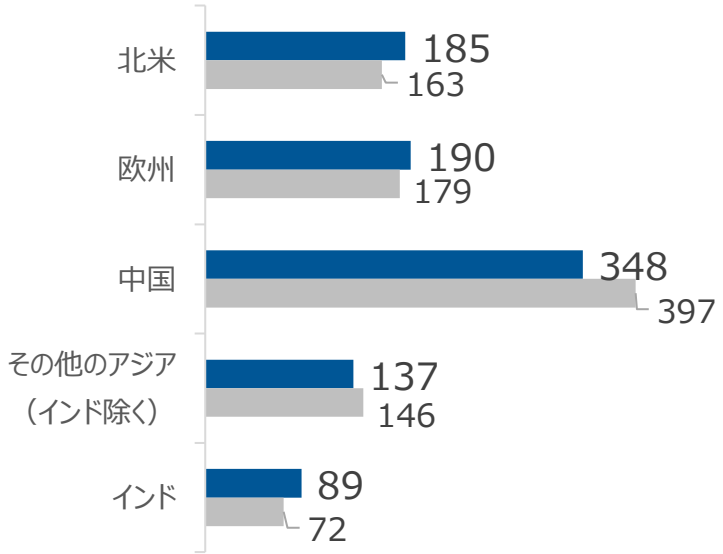
*CxO･･･CRO,CMO,CDMO

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

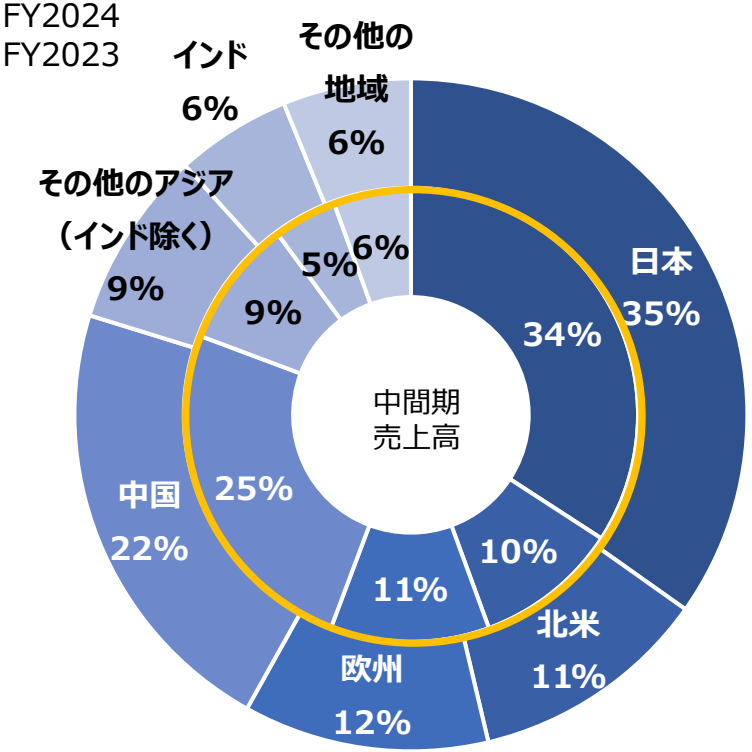
計測機器／地域別売上高

- 中国が大幅減のため1.2%の増収にとどまる。中国を除くと5.6%の増収
- 海外売上高比率が0.6pt低下し65.2%。　中国比率は3.3pt低下し21.7%
- 日本：559億円で+3%成長　　海外：1,047億円で+0.2%増　北米、インドの増加で中国をカバー





※%は前年同期比

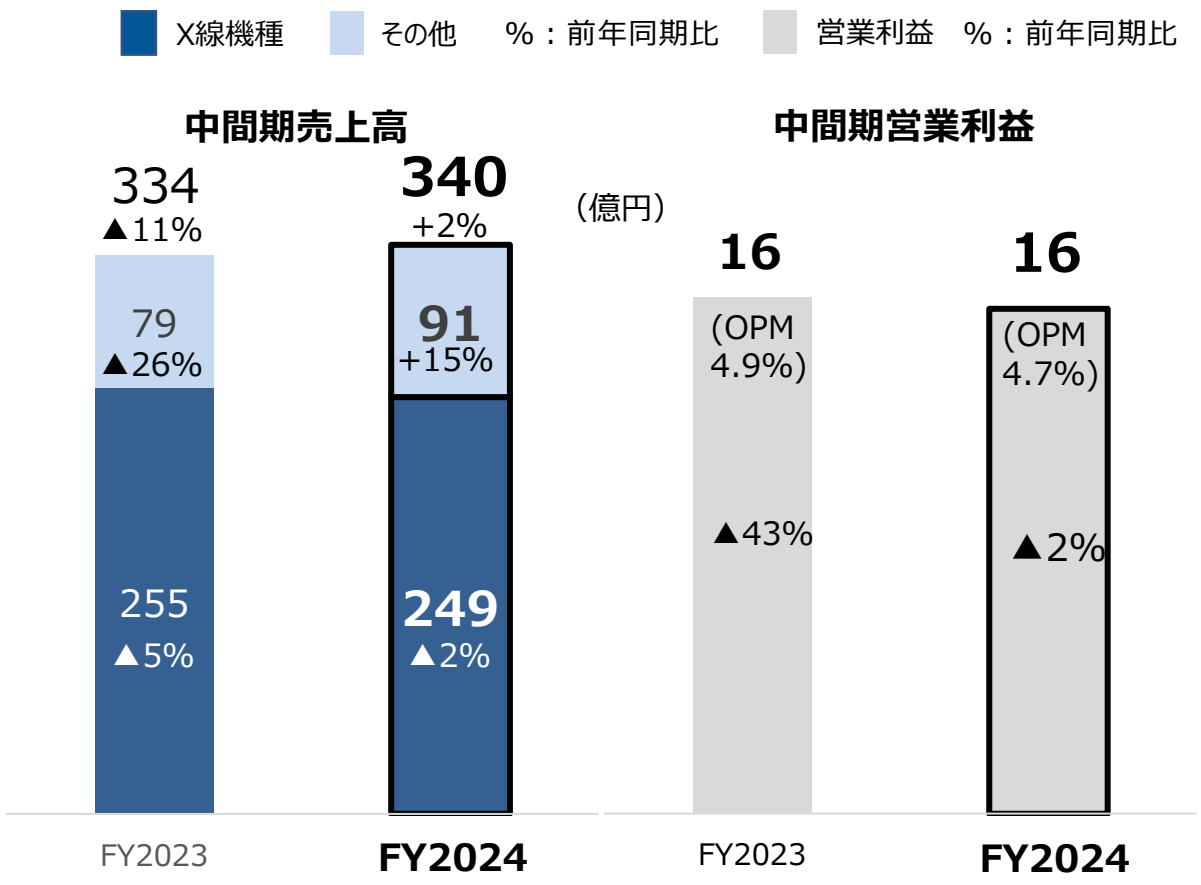


※円グラフ:外側 FY2024実績
内側 FY2023実績

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

医用機器／売上高・営業利益

- **増収減益：売上高340億円（前年同期+6億円+2%）、営業利益16億円(前年同期横ばい▲0億円・▲2%)**
- **売上高　：血管撮影システム、乳房・頭部専用TOF-PET “BresTome” が増加**
- **営業利益：成長投資増により横ばい**



X線機種　売上高249億円

- 一般撮影、X線TV：日本、中国が市況の回復遅れで減少
- 血管撮影システム　：低被ばくで高画質が評価され+12%

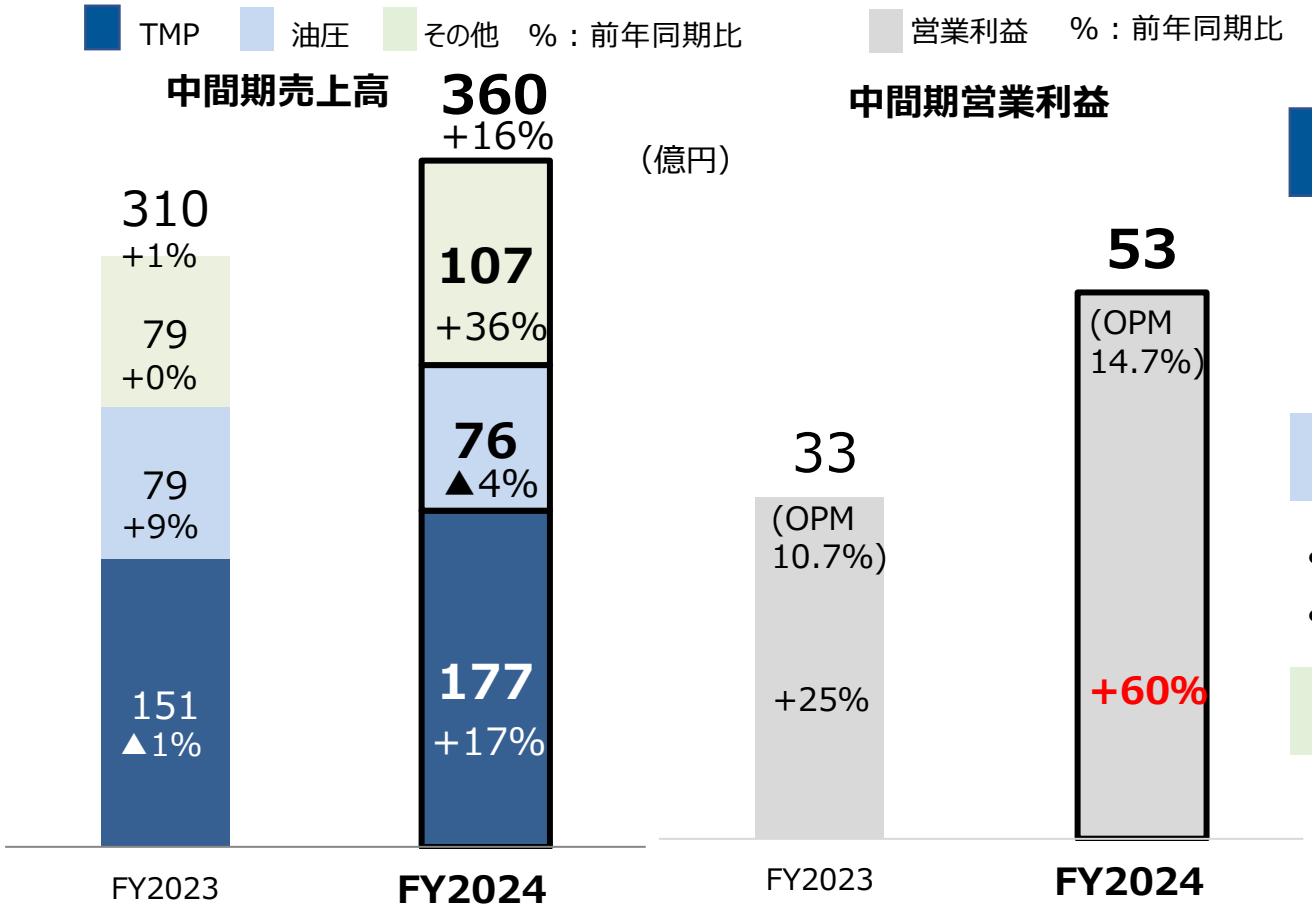
その他　売上高91億円

- 乳房・頭部専用TOF-PET “BresTome” が増加

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

産業機器／売上高・営業利益

■ **増収増益**：売上高360億円（前年同期比+51億円+16%）、営業利益53億円(+20億円+60%）**過去最高**
■ 売上高　：**TMP**（+25億円**+17%**)、その他(＋28億円**+36%**）が牽引し大幅増収
■ 営業利益：増収効果に加え、粗利率改善により大幅増益



TMP　売上高177億円

- 半導体製造装置向けが40%以上伸長
- 受注も20%と好調で、通期でも成長を見込む

油圧　売上高　76億円

- 輸送機・小型建機向けの市況が弱含みで売上減少
- 電動フォークリフトの増加が追い風

その他　売上高　107億円

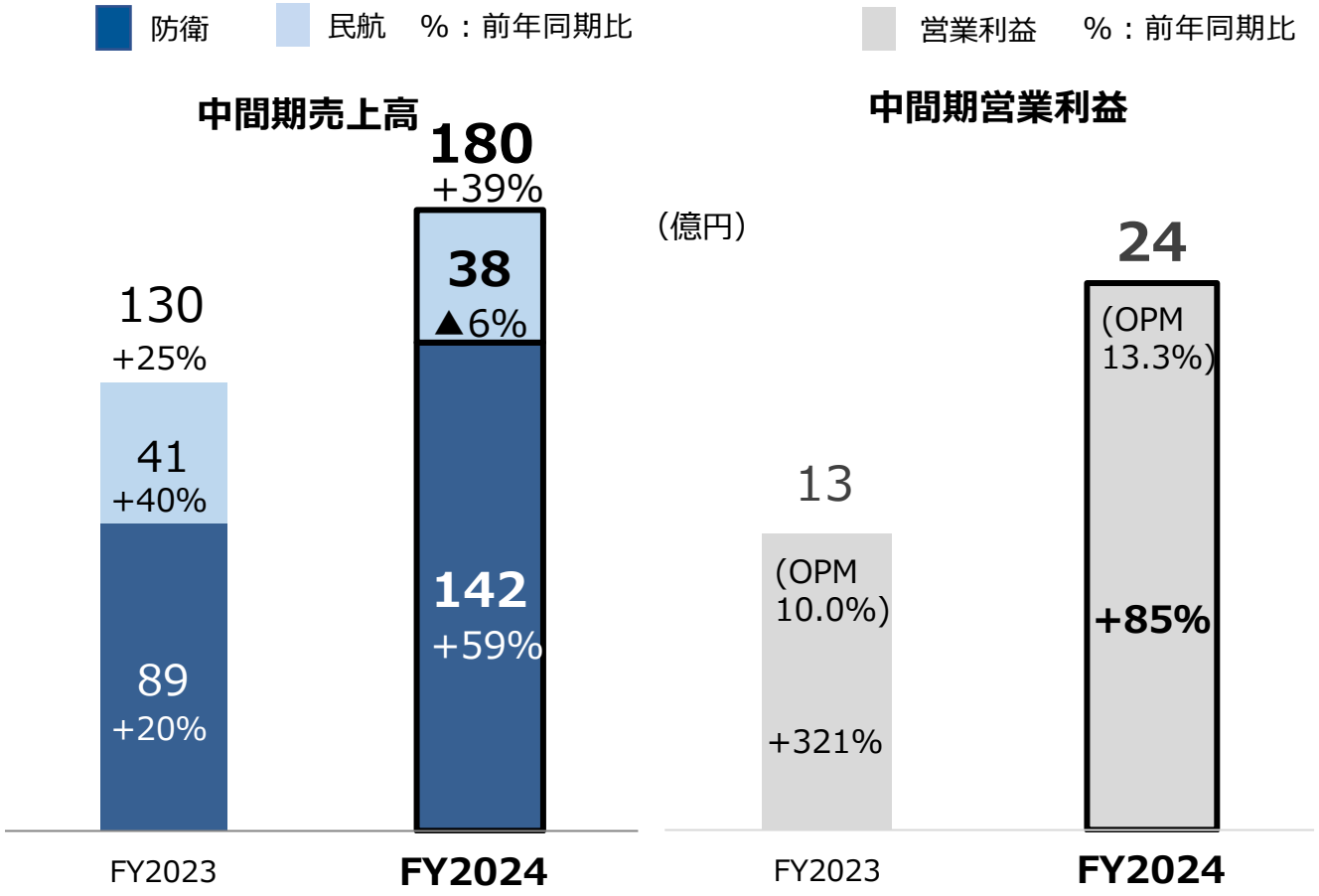
- 車載用セラミック製造向け工業炉が、引き続き増加

※FY2024Q1より、従来「航空機器」に含まれていた海洋関連機器の業績を「産業機器」へ移管。
FY2024、FY2023の数値、ならびにFY2024/FY2023前年同期比を変更後のセグメント区分に組み替え。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

航空機器／売上高・営業利益

■ **増収増益**：売上高180億円（前年同期比+50億円**+39%**）、営業利益24億円(+11億円**+85%**）**過去最高**
■ 売上高　：**防衛向け大幅増加**（+53億円+59%）、民間航空向け減少（▲3億円▲6%）
■ 営業利益：増収効果に加え、粗利率改善により大幅増益



防衛　**売上高142億円**

- 政府の防衛力強化方針により需要が拡大
- 受注、売上とも、大幅増

民航　**売上高　38億円**

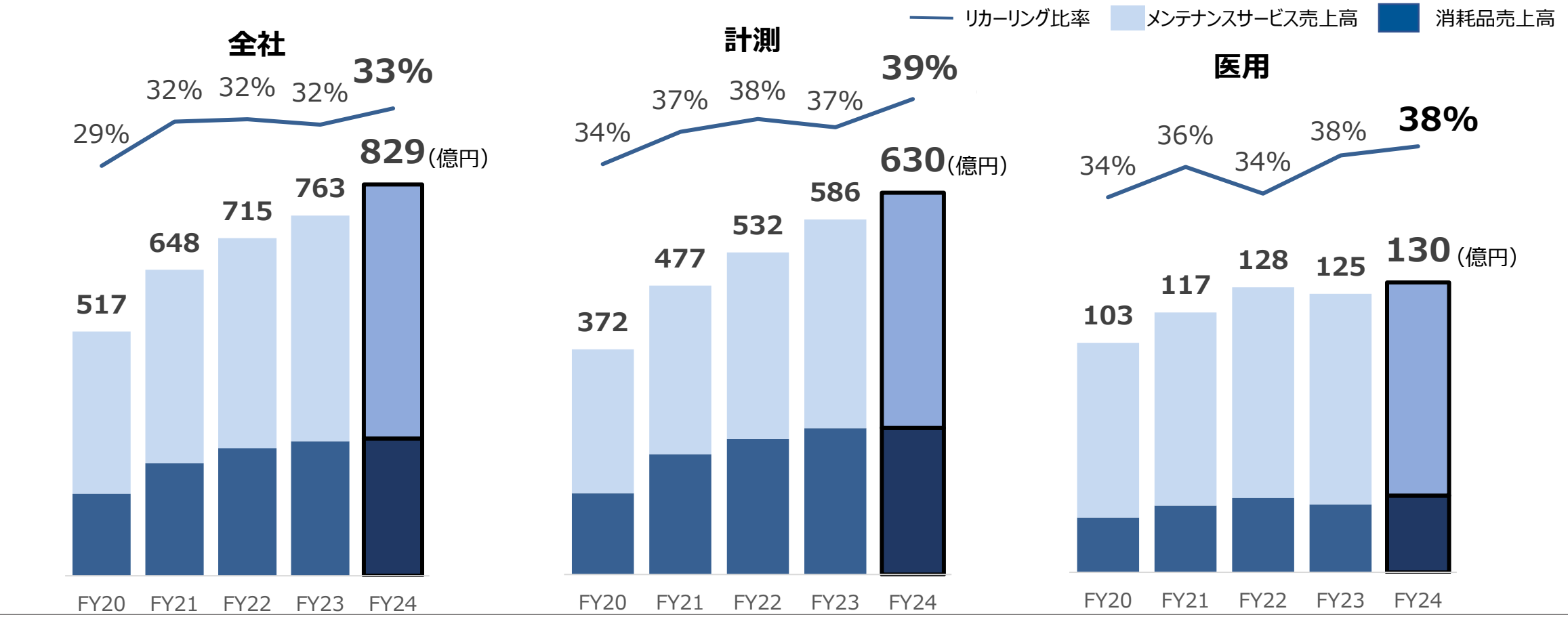
- 需要は拡大しており、好調に推移
- 北米顧客の都合による出荷延期が懸念点

※FY2024Q1より、従来「航空機器」に含まれていた海洋関連機器の業績を「産業機器」へ移管。
FY2024、FY2023の数値、ならびにFY2024/FY2023前年同期比を変更後のセグメント区分に組み替え。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

リカーリング売上高・比率

【全社】売上高829億円：計測が牽引し増加
【計測】売上高630億円：M&Aなどにより消耗品が順調に増加。2024年7月から米国Zef社連結効果でメンテナンス増
【医用】売上高130億円：中国でメンテナンスサービス減少、日本は順調に増加



Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

02 2024年度通期業績予想

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

2024年度通期業績予想

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

- **全ての項目で5期連続で過去最高を更新する計画**
- **期初予想から売上高を150億円上方修正**
- **将来につながる成長投資を継続：研究開発費65億円増　人財投資80億円増**

売上高	5,400 億円	前年同期比	+5 %
営業利益	760 億円	前年同期比	+4 %
経常利益	770 億円	前年同期比	+0 %
当期純利益	580 億円	前年同期比	+2 %

下期為替レート	為替感応度		研究開発費		設備投資		減価償却	
			前年同期比		前年同期比		前年同期比	
米ドル：145円 ユーロ：155円		米ドル / ユーロ						
	売上高：	15億円 / 3億円	280億円	+65億円	280億円	+55億円	200億円	+14億円
	営業利益：	5億円 / 1億円						

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

2024年度通期セグメント別業績予想

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

- **主要4セグメントで増収増益の計画**
- **計測：製薬・臨床・グリーンなどの好調な地域・市場での拡大、生産拡大、付加価値訴求、固定費抑制**
- **医用：X線機種新製品と血管撮影システムの拡販とアフターサービス強化**
- **産業：半導体向けTMPの拡販**
- **航空：防衛向け受注残の早期売上と、民間向け価格転嫁**

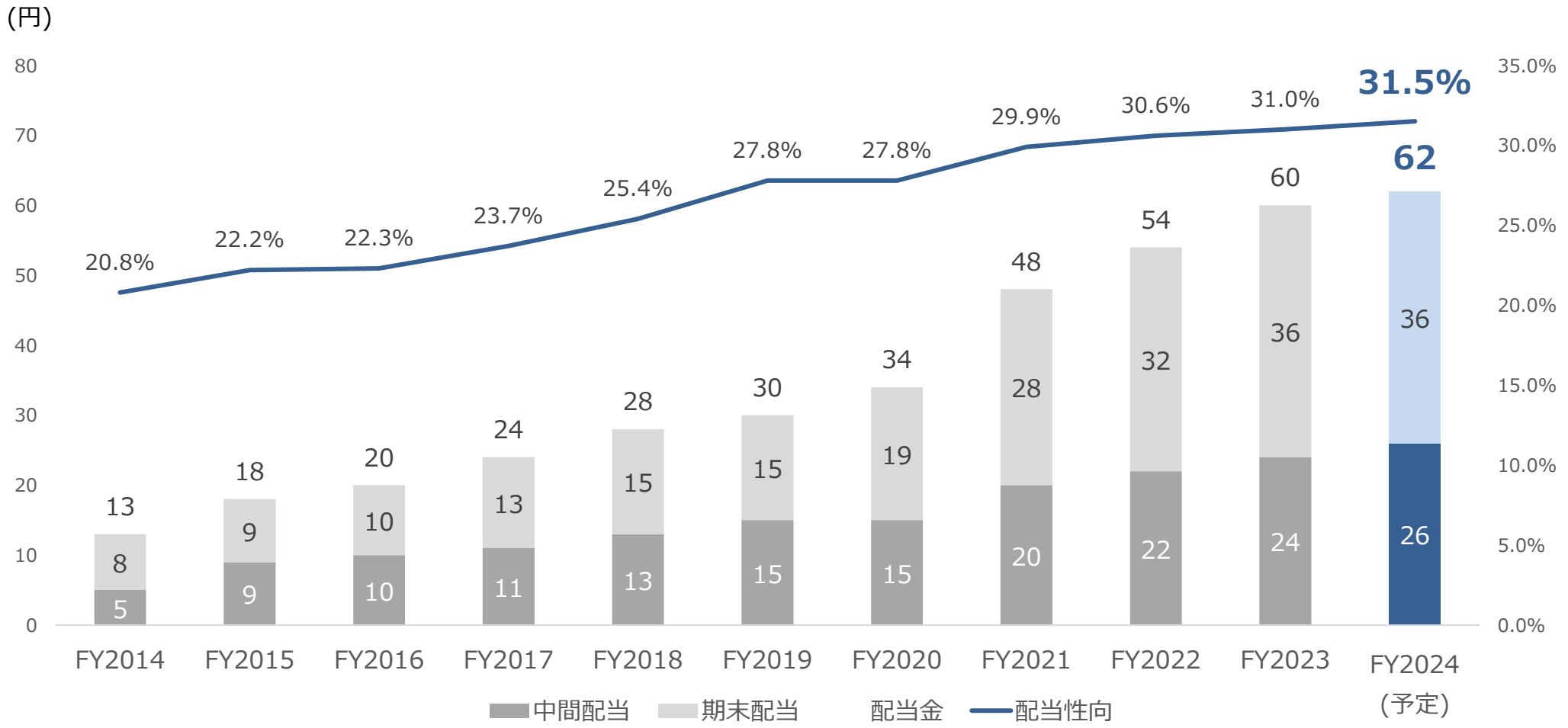
単位: 億円	売上高					営業利益					営業利益率			
	FY2023	FY2024 期初予想	FY2024 新予想	前期比 増減額	前期比 増減率	FY2023	FY2024 期初予想	FY2024 新予想	前期比 増減額	前期比 増減率	FY2023	FY2024 期初予想	FY2024 新予想	前期比 増減
計測機器	3,383	3,420	3,480	+97	+3%	575	600	580	+5	+1%	17.0%	17.5%	16.7%	▲0.3pt
医用機器	723	760	760	+37	+5%	48	60	55	+7	+15%	6.6%	7.9%	7.2%	+0.6pt
産業機器	661	680	720	+59	+9%	74	80	95	+21	+29%	11.2%	11.8%	13.2%	+2.0pt
航空機器	287	350	380	+93	+32%	35	30	38	+3	+9%	12.2%	8.6%	10.0%	▲2.2pt
その他	65	40	60	▲5	▲8%	10	15	10	▲0	▲4%	11.4%	23.1%	11.8%	+0.4pt
調整額	-	-	-	-	-	▲15	▲25	▲18	▲3	-	-	-	-	-
合計	5,119	5,250	5,400	+281	+5%	728	760	760	+32	+4%	14.2%	14.5%	14.1%	▲0.1pt

※FY2024Q1より、従来「航空機器」に含まれていた海洋関連機器の業績を「産業機器」へ移管。
FY2024、FY2023の数値、ならびにFY2024/FY2023前年同期比を変更後のセグメント区分に組み替え。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

株主還元

- **中間配当　：前年同期2円増配の26円**
- **年間配当　：62円と11期連続増配を予定**
- **自社株買い：FY2024中に250億円実施予定。10月末時点で33億円（68万株）取得**



Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

03 トピックス

・計測中国の見通し
・ヘルスケア領域
　１）製薬市場への取り組み
　２）臨床分野への取り組み
・グリーン＆マテリアル領域
・高度専門人財の育成

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

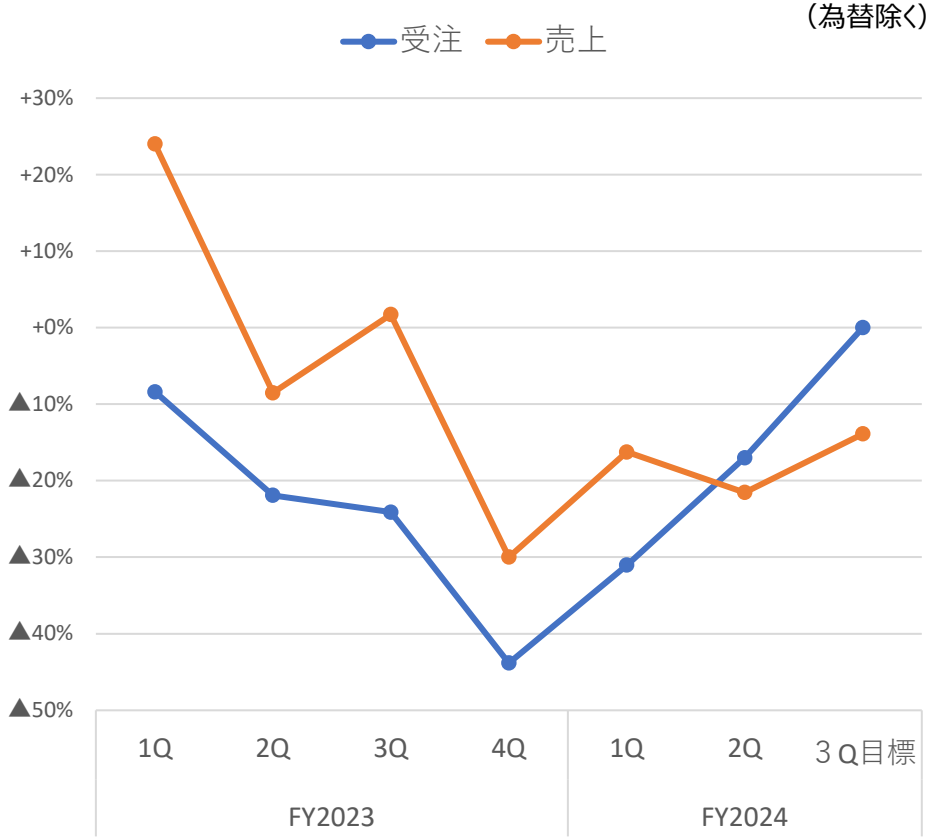
計測中国の見通し

- 製薬以外で環境、臨床、食品安全など幅広い市場で事業機会をとらえる
- 受注はFY2023 4Qを底に回復傾向。FY2024 3Qから受注の前年比プラスを見込む
- 『大規模な設備更新と消費財の買い替えを推進する行動計画』によりアカデミア、官需（税関）を中心に案件が増加
- ヘルスケア領域では薬典改定、グリーン領域では新汚染物質規制強化で需要増を期待

政府支援策 (大規模な設備更新と消費財の買い替えを推進する行動計画)	・今期受注目標30MUSD -２Qは施行遅れで入札遅延 -アカデミアに加え、税関でも案件増加
ヘルスケア/製薬 **FY2025　薬典改訂**	・FY2024　４Qから業績貢献を見込 - 追加成分の分析メソッド、ソリューションの早期開発と説明展開強化
グリーン	・新汚染物質管理行動計画による分析用途向け装置拡販 ・水素プロジェクト、EV･リチウム電池市場向けに、GCや試験機などの展開拡大
現地生産強化	・国産優遇に対応するため、LC,MSのハイエンド機生産を拡大

受注･売上の前年同期比推移

（為替除く）



Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

顧客ニーズに基づく施策の推進

主な施策/ヘルスケア（ライフサイエンス、メドテック）

- ライフサイエンス ：LC,LCMSを中心に地域・市場に応じた施策展開
- メドテック ：臨床:検査会社のR&D部門攻略、試薬キット拡大、自動化の推進、OEM供給拡大
  X線画像診断: グローバルに保守サービス拡大、血管撮影システム（CVS）拡販

主な施策/グリーン、マテリアル、インダストリー

- グリーン ：米ARC社から買収した技術を用い、新エネルギー向けにGCを拡販。PFAS用LCMS拡販
- マテリアル ：新素材、電池検査向け試験機拡販及び自動化の推進。セラミックス向け工業炉拡販
- インダストリー ：半導体製造装置向けTMP拡販、TMPメンテナンス拡販

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

ヘルスケア領域
製薬分野の深耕

- 製薬分野への前処理、分析、データ解析、データ管理までのトータルソリューションを提供
- 競争力のある超臨界流体クロマトグラフ/SFCなどで欧米メガファーマの創薬部門を攻略
- 北米R&Dセンターを通じて最先端の顧客と共同開発

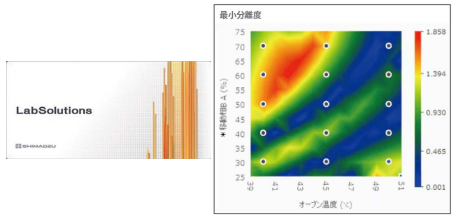
ラボのワークフロー

実験フェーズ

分析スケジュール最適化 → 分析条件自動生成 → 自動サンプリング 分析実行 サンプルセット/注入 ⇔ 自動前処理 装置安定化 → 分析 → AI波形処理 統合解析 → 解析合否判定 → レポート作成 → 分析データ統合管理

自動処理の結果確認

主な製品



分析条件を開発支援するソフトウェア
「LabSolutionsMD」

抗体糖鎖自動前処理装置
「MUP-3100」
‘住友ベークライト㈱と共同開発

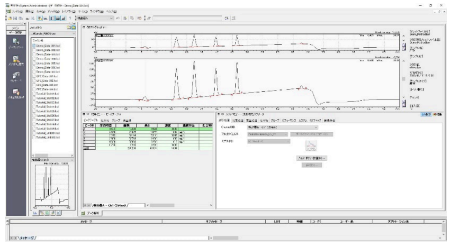
新製品（自動化）

高速液体クロマトグラフ
質量分析システム
「LCMS-TQ RXシリーズ」

新製品（堅牢性・安全性）

Keyデバイス

SFC（分析/分取）



LC向け解析支援ソフトウェア
「Peakintelligence for LC」

新製品（AI自動波形処理）

（FY2022売上高を100として）		全体	北米	欧州
製薬市場売上高伸び率	FY2024（見込）	116	120	125
	FY2025（計画）	127	140	135

北米R&Dセンター
・先端顧客のニーズから開発テーマを創出
(現在の開発テーマ10件)

北米R&Dセンター

＊SFC/Supercritical Fluid Chromatography

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

ヘルスケア領域

医薬品精製用クロマトグラフィー装置市場への参入

- バイオ医薬品の精製装置事業を展開する米国Sepragen社に出資
- 高成長が見込まれる医薬品精製装置市場に参入。従来の事業領域（R&D、品質管理）を製造工程まで拡大

Sepragen社との協業内容

- 日本・韓国・東南アジアで販売・サービスを実施
- 顧客との更なる接点増加により、製造工程における分析ニーズを捉え、既存事業においても新たな事業機会を獲得

Sepragen Corporation

（創業1985年　米国カリフォルニア州）

- 独自技術により、精製工程の自動化や設置面積の削減を実現
- 北米および、アジアではインドを中心に、大手製薬企業やCDMOへの納入実績を多数保有する

医薬品精製用クロマトグラフィー装置市場

- 細胞・遺伝子治療薬、抗体医薬品などバイオ医薬品の製造工程で、不純物除去に精製用クロマトグラフィー装置を使用
- 市場規模は約１B USD、成長率はCAGR約14%

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

臨床分野展開

臨床ソリューション事業

■臨床検査プラットフォームを提供
■自社開発、社外試薬メーカーとアライアンスによりIVD試薬を拡充
■医療機関の臨床検査部門をサポートするため、自動化と
Laboratory Information Systemへの接続強化

※IVD（In Vitro Diagnostics）：体外診断

臨床検査プラットフォーム（機器販売＋サービス）

全自動前処理LCMS分析システム

Hamilton社
全自動前処理装置

＋

IVD試薬（リカーリング）

島津

社外試薬メーカー

- Recipe社が島津装置用IVD試薬キットを拡充

ソフトウェアの接続

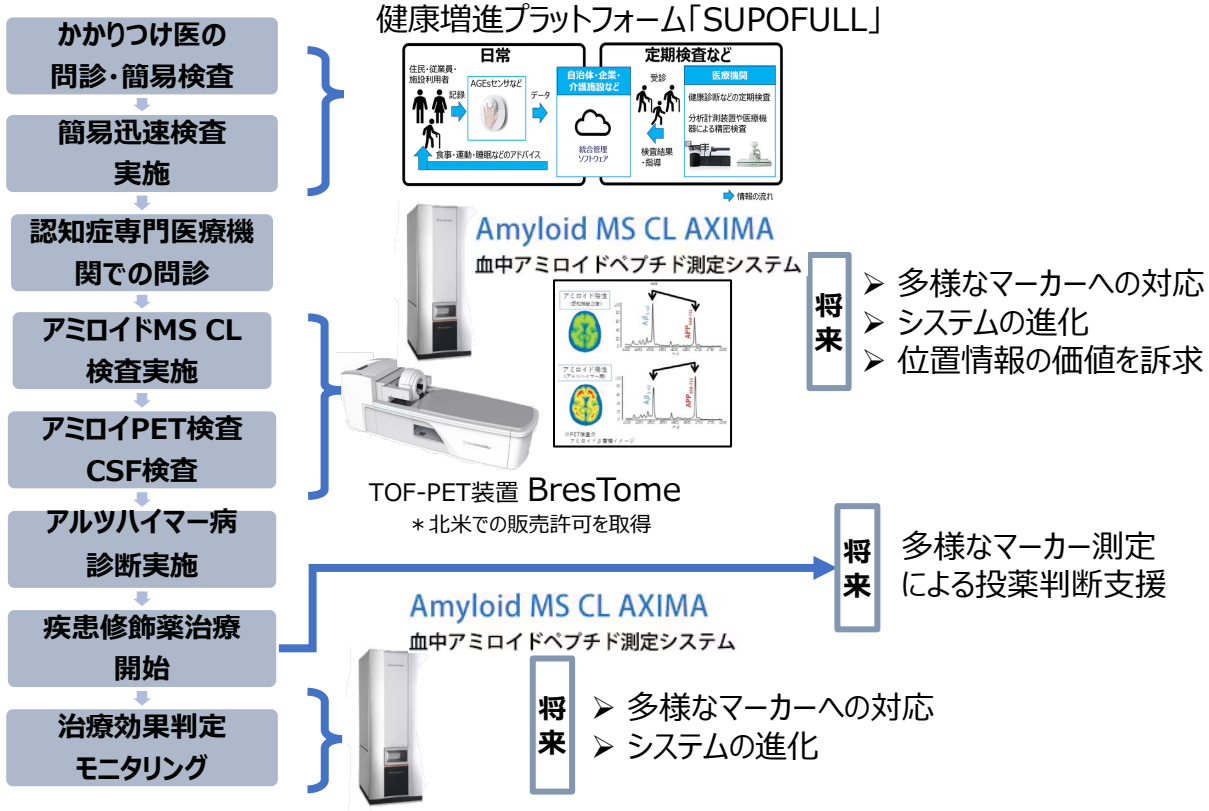
検査装置からLISへのデータ送信の自動化

- 北米:大手臨床検査会社向け強化
- 中国:中国試薬メーカーへのOEM提供

	（FY2022売上高を100として）	全体	北米	欧州
臨床ソリューション売上高	FY2024（見込）	106	102	120
	FY2025（計画）	132	150	136

認知症検査事業

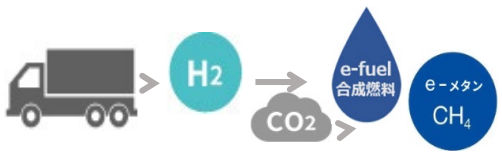
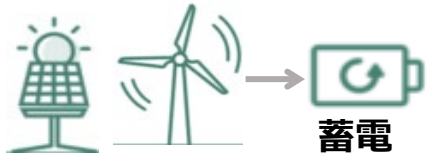
■ アルツハイマー病のアミロイドMSとアミロイドPETによる予防から検査までの幅広い事業へ展開
■ 多様なマーカーにも対応した検査ソリューション提供を目指す
■ TOF-PET装置は、FDAの市販許可を取得



Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

新エネ・創エネ・蓄エネ展開

■ 新たな需要動向への対応、関連規制設定機関（国内NEDO、海外ISOなど）との関係構築
■ 製品とアプリケーション開発、社会実装の両輪で事業拡大

	顧客の課題＝事業機会	当社の取り組み
グリーン	**水素脆性対策**	■ 物質・材料研究機構の新規ISO規格提案に協力し、試験機を使用して「高圧水素中材料試験法」：**ISO 7039　を2024年7月に制定**
	 **水素の品質・製造コスト**	■ **水素の純度分析システムを顧客と共同で評価** ■ 分析時間を大幅に短縮した**GCを顧客連携で製品化**
マテリアル	 **電池性能向上・自動化**	■ **圧縮試験や電極表面状態の評価システム構築** ■ 各種自動検査装置を導入し、電池製造の生産ラインに拡販

水素、CO2、アンモニア分析

ガス分析計

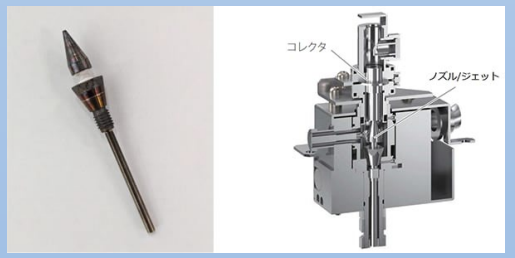
バッテリー開発、品質検査

X線検査装置

試験機

GX領域における競争力を強化

米Activated Research Company からマイクロリアクター事業を買収



- 汎用的な検出器のみで複数の**温室効果ガスの一斉分析が可能**
- 世界最大規模の業界規格化団体である米国試験材料協会(ASTM)で**分析標準化を推進**

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

環境規制対応

■ PFAS：グローバルで需要が拡大。前処理システム、メソッドパッケージの提供
■ マイクロプラスチック：分析手法の標準化の推進

PFAS

環境、食品、電機電子、半導体等、　各地域の産業分野に急速に分析需要が拡大

施策

**製品だけでなく、消耗品から
メソッド、レポート提供まで
トータルソリューションを提供**

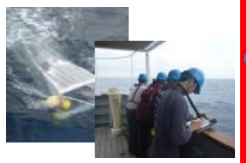
納入実績

■ **米国**
・受託分析業・大学・公的水道事業など
■ **日本**
・環境・食品・医薬・電機電子分野など
■ **欧州**
・公的水道事業、官公庁など
■ **中国**
・官公庁など

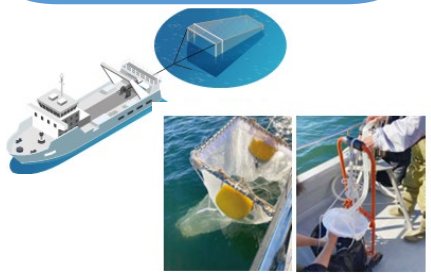
マイクロプラスチック

科学的知見の集積

・プラスチックごみのモニタリング
・海洋流出量推計
・生物生態系影響の検討
等



サンプリング



前処理

世界初の環境水中マイクロプラスチックの抽出/回収工程を自動化
➡ **国際標準化へ**

マイクロプラスチック
自動前処理装置　MAP-100

観察・分析・計測

フーリエ変換赤外分光光度計
IRSpirit™/QATR™-S

赤外ラマン顕微鏡
AIRsight™

＊PFAS：いくつかの例外を除き、少なくともペルフルオロメチル基（-CF3）またはペルフルオロメチレン基（-CF2-）を含むすべて化学物質

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

高度専門人財の育成

■ 顧客ニーズの深堀り、製品やサービスの革新に向けて、グローバルな事業成長に資する博士号取得と博士人財の採用・育成
- REACHプロジェクト/社会人博士育成支援制度（SPARK）などにより博士号取得を促進
- 持続的な成長に必要な、高度な技術的専門性や経営管理スキル・能力をもつ専門人財の獲得

社内制度

共同研究を通じた博士号取得支援

創業以来、大学、公的研究所などと共同研究を積極的に推進

□ **2003年から資格取得奨励一時金制度を開始**

博士号取得者　142名
うち、入社後取得者　40名

□ **2024年に博士号取得のための学費補助制度 SPARKを新設**

2024年４月から２名が制度活用

SPARK
Shimadzu **P**h.D. scholarship for Professional **A**dvancement through **R**esearch and **K**nowledge

大学との人財育成

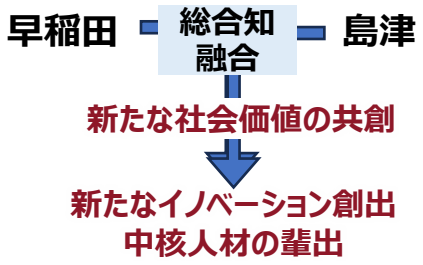
REACH プロジェクト

【ストレート】修士卒を社員として採用後、博士後期課程で共同研究に参加させ博士号取得
【キャリア】　若手研究者・技術者などの社員を事業戦略上の重要研究領域の博士課程に派遣
復社後は高度な研究能力、人的ネットワークを有する人財として活躍

- **大阪大学** ストレート・キャリア
- **長崎大学** ストレート
- **早稲田大学** ストレート

REACH : **R**ecurrent & Re-skilling through **A**cademia and Industry **C**ollaboration for **H**igher Education

早稲田大学と連携



- 早稲田と島津が保有する総合知を融合し、新たな社会価値を共創
- 産学連携による研究・教育と人材交流を通じて、社会課題の解決可能な人材輩出

⇒ 上記REACHプロジェクトに加え、「最新分析機器によるデーター取得や高度解析技術の習得させ、早稲田大学の技術職員を対象とした高度人材育成を推進」

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

SHIMADZU
Excellence in Science

本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合せ先：㈱島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673
E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

連結業績（7-9月）

	単位：億円	第2四半期(7月-9月)		前年同期比	
		FY2023	FY2024	増減額	増減率
業績	売上高	1,303	1,343	+40	+3%
	営業利益	193	193	+0	+0%
	営業利益率	14.8%	14.3%	▲0.4pt	
	経常利益	202	147	▲55	▲27%
	親会社株主に帰属する当期純利益	155	113	▲41	▲27%
為替	平均為替レート：米ドル（円）	144.67	149.43	+4.76	+3%
	ユーロ（円）	157.37	164.03	+6.66	+4%
	研究開発費	53	66	+13	+26%
	設備投資額	64	69	+5	+8%
	減価償却費	47	48	+2	+4%

為替影響額

売上高　：　26億円

営業利益：　16億円

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

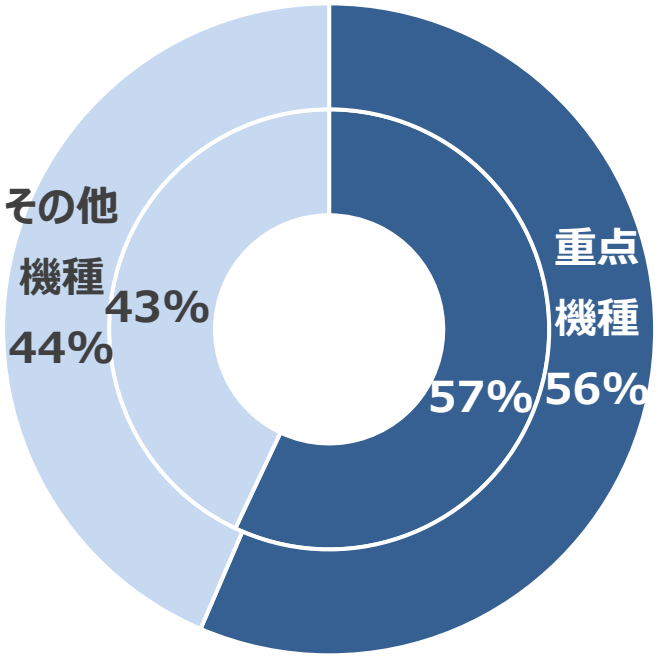
セグメント別損益（7-9月）

単位 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2023	FY2024	前年同期比		FY2023	FY2024	前年同期比		FY2023	FY2024	前年同期比
			増減額	増減率			増減額	増減率			増減
計測機器	873	868	▲6	▲1%	158	140	▲18	▲11%	18.1%	16.1%	▲2.0pt
医用機器	190	186	▲4	▲2%	16	15	▲1	▲5%	8.4%	8.2%	▲0.2pt
産業機器	162	185	+22	+14%	14	26	+13	+94%	8.4%	14.3%	+5.9pt
航空機器	68	94	+25	+37%	7	11	+4	+52%	10.3%	11.5%	+1.1pt
その他	9	11	+2	+25%	2	3	+1	+45%	15.1%	19.1%	+4.0pt
調整額	-	-	-	-	▲4	▲3	-	-	-	-	-
合計	1,303	1,343	+40	+3%	193	193	+0	+0%	14.8%	14.3%	▲0.4pt

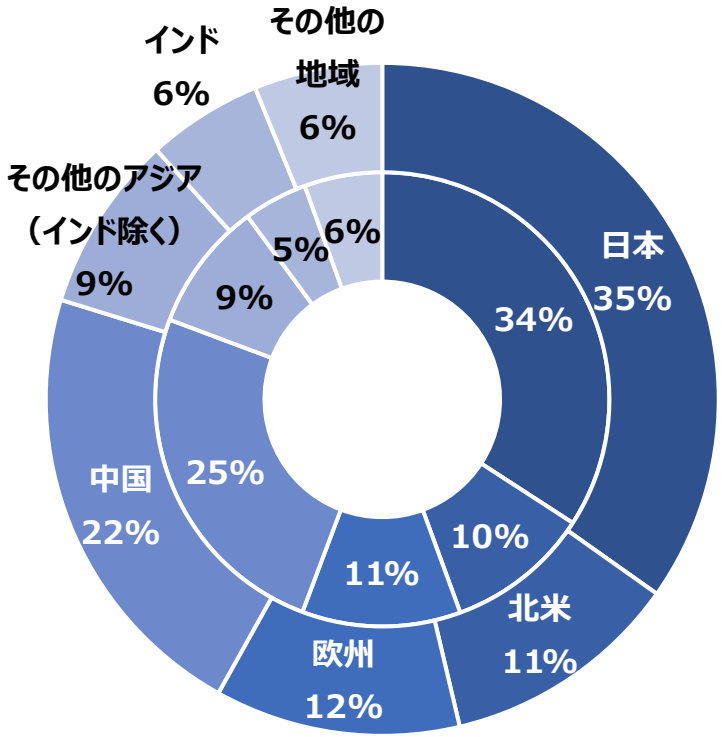
Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器/各種売上高構成比率（4-9月）

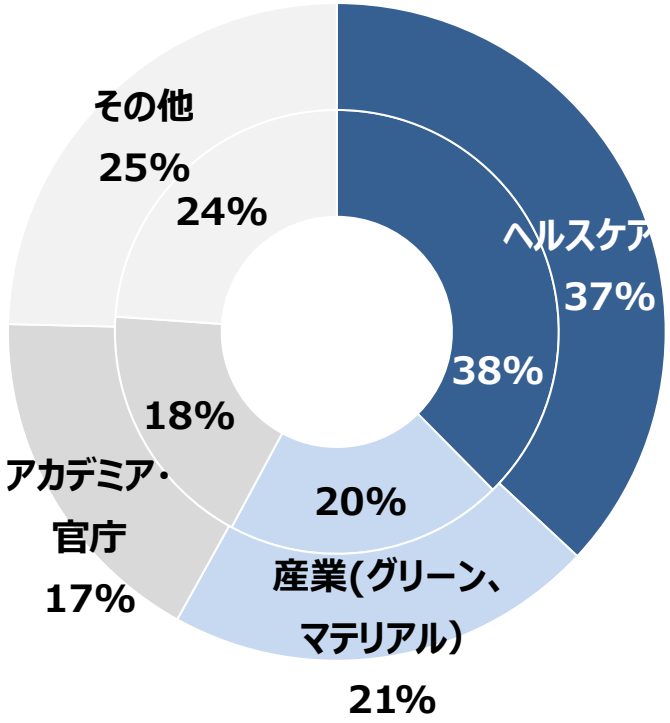
機種別



地域別



市場別



※円グラフ外側はFY2024実績、内側はFY2023実績を示す

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器/重点機種売上高前年同期比

■ 重点機種

LC： 日本、インドで医薬向け増加。北米で特定顧客向け増加。中国で医薬・CRO向け減少
MS：Zef社新規連結によるサービス売上増加。中国で医薬・CRO向け減少
GC：新製品が化学向けで増加。中国でアカデミア、化学向け減少

	FY2022					FY2023					FY2024	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
重点機種	+2%	+14%	+9%	+25%	+13%	+18%	+13%	+12%	▲2%	+10%	+3%	▲2%
全体	+1%	+15%	+15%	+20%	+13%	+16%	+10%	+6%	+2%	+7%	+3%	▲1%

※為替影響を含む
※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器/地域別売上高

単位 億円		FY2023	FY2024	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	概況
日本	中間期	542	559	+17	+3%	・医薬向けで液体クロマトグラフや質量分析システムが増加 ・エネルギー開発を中心に幅広い分野でガスクロマトグラフが増加 ・試験機が新素材開発向けで増加
	1Q	221	232	+11	+5%	
	2Q	321	327	+6	+2%	
海外	中間期	1,045	1,047	+2	+0%	・海外売上高比率は65%
	1Q	493	506	+13	+3%	
	2Q	552	541	▲12	▲2%	
北米	中間期	163	185	+22	+13%	・臨床、受託分析向けにMSが増加 ・特定顧客向けの液体クロマトグラフが回復
	1Q	72	82	+10	+13%	
	2Q	91	103	+12	+13%	
欧州	中間期	179	190	+10	+6%	・臨床検査向けで液体クロマトグラフや質量分析システムが増加
	1Q	85	91	+6	+8%	
	2Q	94	98	+4	+4%	
中国	中間期	397	348	▲49	▲12%	・医薬、受託分析市場の低迷により、液体クロマトグラフや質量分析システムが減少 ・前年のアカデミアに対する政府支援策の反動減
	1Q	191	181	▲9	▲5%	
	2Q	206	167	▲39	▲19%	
その他のアジア（インド除く）	中間期	146	137	▲9	▲6%	・韓国で大口案件の反動で質量分析システムが減少
	1Q	69	66	▲2	▲3%	
	2Q	77	70	▲7	▲9%	
インド	中間期	72	89	+17	+23%	・医薬、受託分析向けで、液体クロマトグラフが増加 ・ガスクロマトグラフが新製品効果で増加
	1Q	34	40	+7	+20%	
	2Q	39	49	+10	+25%	

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器/地域別売上高前年同期比

- 日本：医薬向けにLC、グリーン向けに非破壊検査が増加
- 海外：インドは医薬・CRO向け増加。中国が医薬・CxO向け、アカデミア特需の反動で大幅に減少

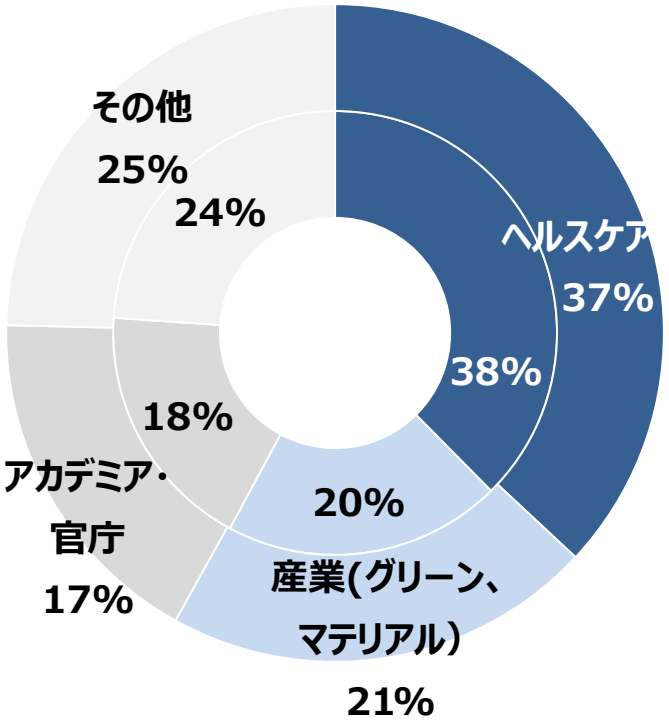
	FY2022					FY2023					FY2024	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
日本	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%	+5%	+2%
北米	▲2%	+12%	+20%	+22%	+13%	+1%	+4%	▲4%	+7%	+2%	+13%	+13%
欧州	+13%	▲1%	+18%	+28%	+14%	+20%	+27%	+21%	+10%	+19%	+8%	+4%
中国	▲14%	+36%	+6%	+49%	+17%	+31%	▲4%	+6%	▲21%	+1%	▲5%	▲19%
その他のアジア	+37%	+25%	+24%	+18%	+25%	+15%	+20%	+20%	+11%	+17%	+4%	+3%
インド	+50%	+22%	+26%	+8%	+23%	+27%	+14%	+32%	+8%	+20%	+20%	+25%

※為替影響を含む
※インドはその他のアジアの内数

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器/領域別売上高比率（4-9月）

市場別売上高構成比



市場と主な業界	構成比 FY2023	構成比 FY2024	売上高 前年同期比	概況
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	38%	37%	▲2%	・医薬は、日本、北米、インドで増加。中国減少 ・臨床（医療機関）は、北米、欧州で増加
産業 (グリーン、マテリアル) ●化学・素材 ●電機 ●自動車	20%	21%	+4%	・新素材開発向けに試験機が増加 ・新製品のGC-2050が化学向けに増加
アカデミア・官庁	18%	17%	▲5%	・日本と北米は堅調 ・欧州は欧州議会選挙後の予算執行遅れ影響を受ける ・中国は前年の政府支援策の反動

※円グラフ外側はFY2024実績、内側はFY2023実績を示す

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器/領域別売上高前年同期比

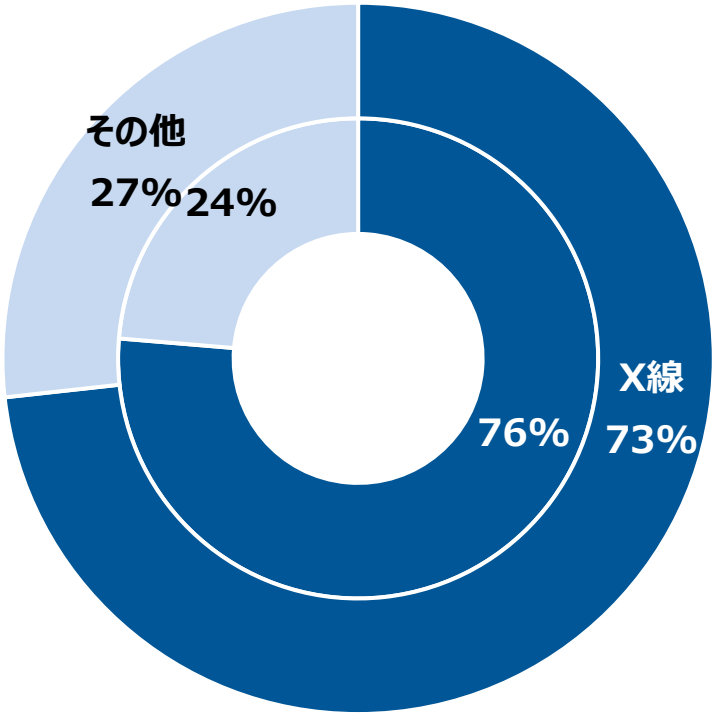
	FY2022					FY2023					FY2024	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
ヘルスケア	▲7%	+19%	+14%	+14%	+10%	+24%	+7%	▲4%	▲8%	+3%	+1%	▲4%
産業 (グリーン、マテリアル)	+6%	+17%	+12%	+19%	+14%	+15%	+8%	+6%	+5%	+8%	+7%	+2%
アカデミア・官庁	+20%	+17%	+8%	+30%	+19%	+20%	+25%	+23%	▲2%	+14%	▲2%	▲8%

※為替影響を含む

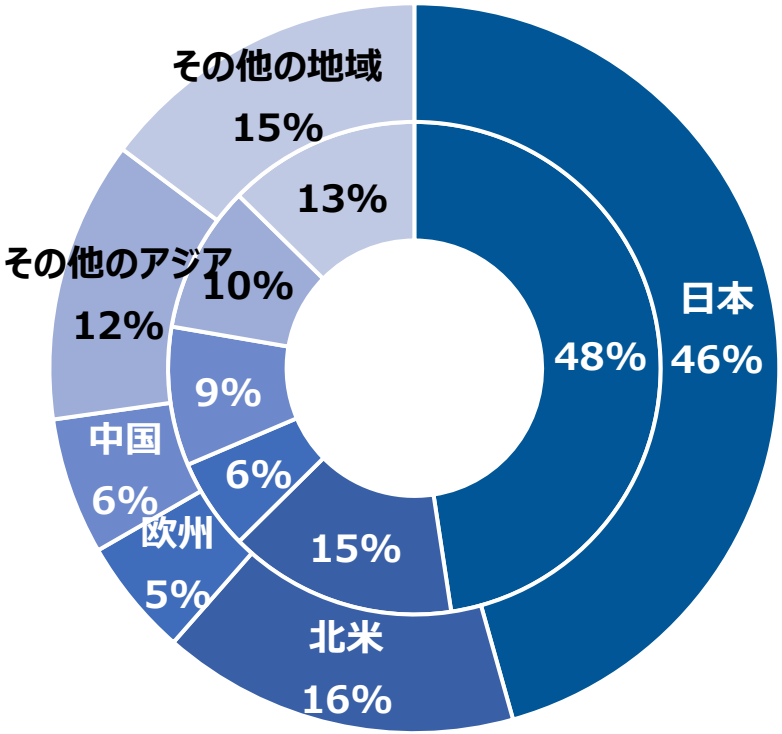
Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

医用機器/各種売上高構成比率（4-9月）

機種別



地域別



※円グラフ外側はFY2024実績、内側はFY2023実績を示す

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

医用機器/地域別売上高

単位 億円		FY2023	FY2024	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	概況
日本	中間期	159	155	▲4	▲2%	・乳房・頭部専用TOF-PET “BresTome” や放射線治療装置用動体追跡システムが増加 ・市況回復の遅れによりX線TVシステムが減少
	1Q	71	70	▲1	▲1%	
	2Q	88	85	▲3	▲3%	
海外	中間期	175	185	+10	+6%	・海外売上高比率は、54%と前年同期比2pt増加
	1Q	73	85	+12	+16%	
	2Q	102	100	▲2	▲2%	
北米	中間期	50	54	+4	+8%	・一部の部材調達難が解消し、一般撮影システムが増加 ・近接型X線TVシステムが増加
	1Q	17	24	+6	+37%	
	2Q	33	30	▲3	▲8%	
欧州	中間期	20	18	▲2	▲12%	・東欧向けに血管撮影システムが増加
	1Q	9	10	+1	+11%	
	2Q	11	8	▲3	▲30%	
中国	中間期	30	21	▲10	▲32%	・市況悪化や腐敗防止強化による入札案件の遅れにより X線TVシステムや一般撮影システムが減少
	1Q	14	9	▲5	▲36%	
	2Q	17	12	▲5	▲29%	
その他のアジア	中間期	32	43	+10	+32%	・東南アジアで、X線TVシステムが増加
	1Q	16	18	+2	+15%	
	2Q	17	25	+8	+47%	

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

医用機器/地域別売上高前年同期比

■ 国内：市況回復遅れの影響を受け減収
■ 海外：その他のアジアで血管撮影システム増加。中国は市況回復遅れ、入札案件の遅れにより大幅減

	FY2022					FY2023					FY2024	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
日本	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%	▲1%	▲3%
北米	+4%	+52%	+21%	+28%	+26%	▲18%	+11%	▲2%	+0%	▲1%	+37%	▲8%
欧州	+5%	+61%	+2%	+33%	+22%	+16%	▲7%	+41%	+0%	+12%	+11%	▲30%
中国	+12%	▲12%	+5%	+23%	+6%	+24%	+38%	+7%	▲5%	+15%	▲36%	▲29%
その他のアジア	+10%	+16%	+7%	+19%	+13%	+20%	▲28%	+10%	+27%	+3%	+15%	+47%

※為替影響を含む

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

産業機器/機種別売上高前年同期比

- TMP　　：半導体製造装置向けが大幅に増加
- 油圧　　：小型建機向けが軟調に推移
- その他機種：自動車用セラミック製造向け工業炉が増加

	FY2022					FY2023					FY2024	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
TMP	+20%	+22%	+9%	+1%	+12%	▲3%	+0%	▲0%	+15%	+3%	+27%	+7%
油圧	▲1%	+1%	+3%	+10%	+3%	+10%	+8%	▲4%	+1%	+3%	▲4%	▲4%
その他	+17%	+12%	+11%	+24%	+16%	▲2%	+2%	+10%	+11%	+6%	+29%	+42%

※為替影響を含む

※FY2024Q1より、従来「航空機器」に含まれていた海洋関連機器の業績を、「産業機器」へ移管。
FY2024およびFY2023の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で、FY2024/FY2023の前年同期比較においては、前年の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

リカーリング比率

- 計測　：日本・北米・欧州で医薬向け、欧州で臨床向けメンテナンス・サービスが増加
- 医用　：北米で代理店買収によりメンテナンス・サービスが増加
- TMP　：台湾、韓国で顧客カバー率向上により増加

計測	FY2022					FY2023					FY2024	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
リカーリング売上高 前年同期比	+4%	+19%	+30%	+14%	+17%	+14%	+7%	▲1%	+4%	+5%	+9%	+6%
リカーリング比率	39%	36%	40%	33%	37%	39%	35%	37%	34%	36%	41%	38%

医用	FY2022					FY2023					FY2024	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
リカーリング売上高 前年同期比	+8%	+11%	+7%	+6%	+8%	▲0%	▲4%	+4%	+5%	+1%	+6%	+3%
リカーリング比率	36%	32%	39%	30%	34%	42%	34%	37%	33%	36%	41%	36%

TMP	FY2022					FY2023					FY2024	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
リカーリング売上高 前年同期比	+8%	+3%	+12%	▲14%	+2%	▲6%	▲4%	+15%	+47%	+12%	+58%	+52%
リカーリング比率	15%	14%	16%	13%	15%	15%	14%	18%	17%	16%	19%	19%

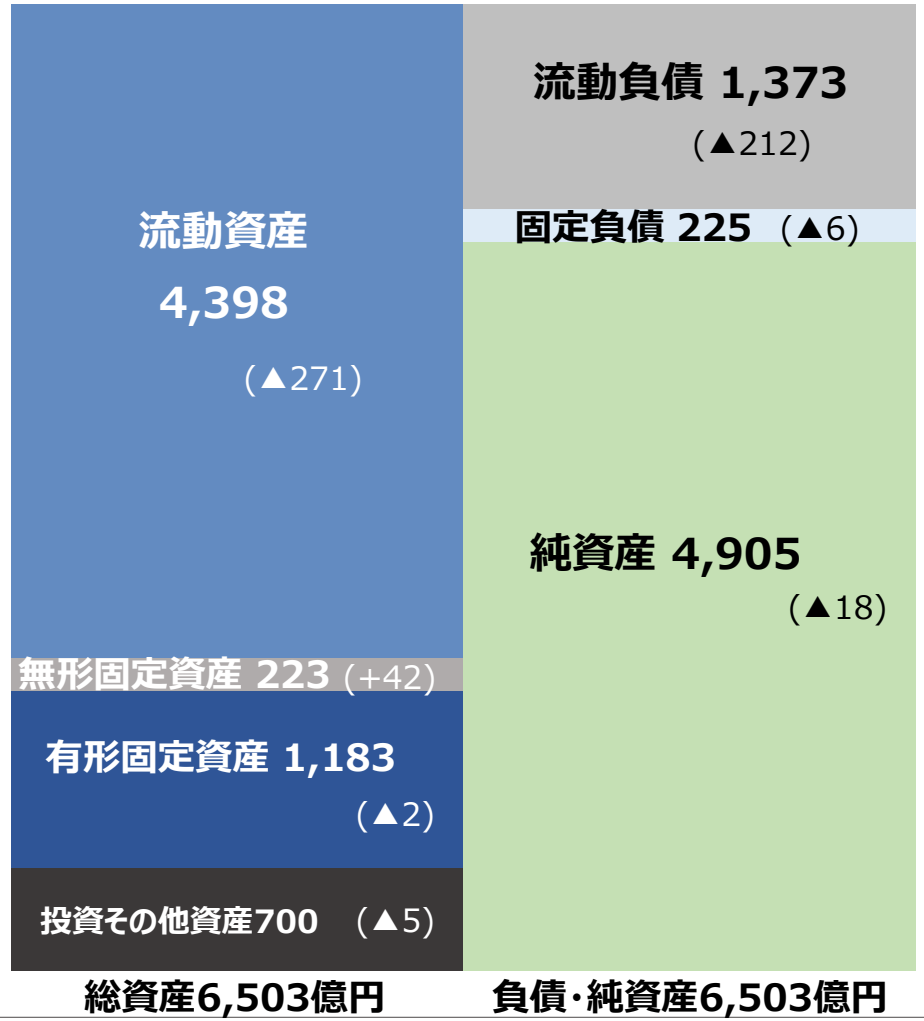
※為替影響を含む

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

連結財政状態（中間連結貸借対照表）

■ 2024年９月末総資産 6,503億円（2024年3月末から▲236億円）
■ 自己資本比率は75.4%（前期比末＋2.3pt）

(億円)
増減は2024年3月末対比



資産

流動資産 **▲271億円**

- 売上債権 ▲190億円
- 現金 ▲82億円（配当金支払い、Zef社買収など）

無形固定資産 **+42億円**

- のれん増加 +42億円（Zef社新規連結など）

負債･純資産

流動負債 **▲212億円**

- 支払債務 ▲126億円

純資産 **▲18億円**

- 自己株式の取得 ▲33億円

自己資本比率 75.4% (+2.3pt)

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.